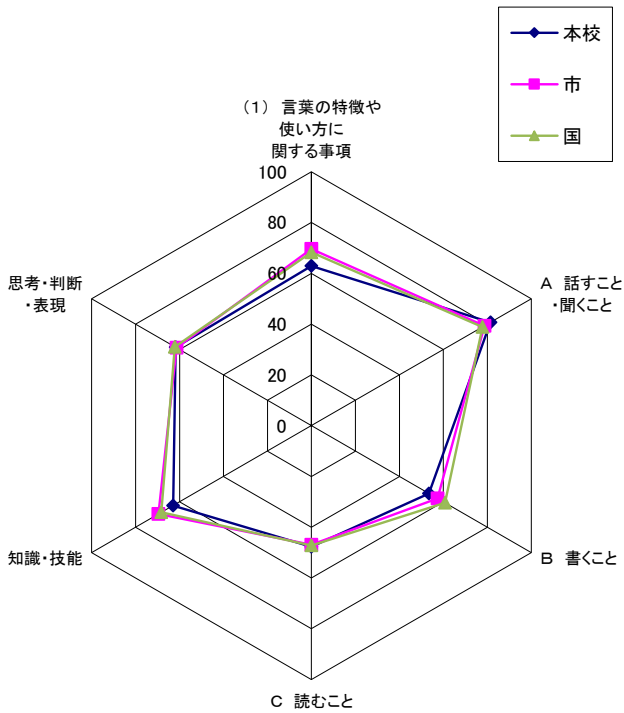


宇都宮市立横川中央小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	62.9	69.6	68.3
	(2) 情報の扱い方にに関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	81.4	78.7	77.8
	B 書くこと	53.4	57.3	60.7
	C 読むこと	47.7	46.9	47.2
観点	知識・技能	62.9	69.6	68.3
	思考・判断・表現	61.8	61.4	62.1
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	●言葉の特徴や使い方にに関する事項では、本校の平均正答率は62.9%で、県の平均よりも6.3ポイント下回っている。また、全国の平均よりも5.4ポイント下回っている。 ●文章の中の「積み重ね」の漢字を書く問題では、本校の平均正答率が38.6%で県の平均より15.8ポイント下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・言葉の特徴や使い方などについて、繰り返し指導していく。 ・ステップアップシートを活用し、漢字の定着を図っていく。
A 話すこと・聞くこと	○話すこと・聞くことの平均正答率は81.4%で、県より4.4ポイント上回り、全国より3.6ポイント上回っている。 ○目的や意図に応じ、資料を使って話す問題では、本校の平均正答率が83.0%と正答率が高かった。	・国語の授業を通して、話や説明を聞く機会を多く設け、伝えたい目的を明確にして、話したりメモを取ったりするための観点をはっきりさせながら指導する。(ペア・グループ・全体)
B 書くこと	●自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える問題では、本校の平均正答率が53.4%で、県の平均より8.6ポイント下回っており、全国より11.4ポイント下回っている。 ●目的や意図に応じて理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題では、本校の平均正答率が53.4%で県の平均より6.0ポイント下回っており、全国の平均より3.2ポイント下回っている。	・目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように、理由を明確にして書く表し方を指導していく。 ・学校で作文を書く機会を増やすことで、目的や意図、理由を明確にしながら文章を書くことや、条件を満たすような文章を書く習慣を身に付けていく。
C 読むこと	○目的に応じ文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける問題では、本校の平均正答率が35.2%で、県より2.1ポイント上回り、全国より0.8ポイント上回っている。 ○目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する問題では、本校の平均正答率が30.7%で、県より2.2ポイント上回り、全国より1.0ポイント上回っている。 ●文章全体の構成を考え、内容の中心となる事柄を把握する問題では、本校の正答率が77.3%で、全国平均より0.3ポイント下回った。ただし、県の正答率よりは1.5ポイント上回っていた。	・目的に応じて文章と図表等を結び付け、必要な情報を見つめながら文章の理解を図るようにする。このような指導を今後も続けていきたい。 ・事実と感想、意見などの関係を叙述を基に抑え、文章全体の構成を捉えて、文章全体の構成を捉えて要旨を把握するような学習活動を計画的に行っていくようにする。